



KENJI BRIDGE COLLEGE

「習って終わり」じゃなく、 御社の現場で使えるように なるまで。

製造業向け 実践型 技術研修のご案内

東大阪発／現役の技能者が、御社の図面・御社の部材で教えます。

出張研修 対応

未経験・初心者可

1日の単発から

助成金の対象となる場合あり



Kenji Bridge College / 運営：株式会社MACHICOCO

〒577-0064 大阪府東大阪市川俣本町11-10 / TEL 06-6720-8735

kbc@machicoco.co.jp / kenjibridgecollege.machicoco.co.jp

WHY KBC

教科書ではなく、御社の実物で教えます。

教える技術の基本は、どこで学んでも同じです。違うのは、御社の実態に合わせて届けるやり方。そしてもうひとつ、技術と一緒に「経営者や管理職の思い」を現場の言葉に翻訳して届けること。社内で伝えても伝わらなかった思いが、外の講師の口から技術と結びついて届く——それもKBCの研修の役割です。



01

現役技能者が教える

教科書の正解ではなく、現場の正解を伝える。段取り、勘所、五感の使い方を伝える。数字やデータだけではないノウハウを伝承する。

現役 × 現場のやり方そのまま



02

御社の図面、製品で学ぶ

実現場に即した加工で伝える。動かすのは受講生、指導するのは講師。実作業を元に技能を伝承する。

御社仕様 × 翌日から使える



03

「教える人」が、そばにいる。

研修後にある「どうしたらいい？」をKBCの講師が継続フォロー。技術のノウハウを教える時間はKBCに任せて、社内の手は止めない。

継続フォロー × 社内の手を止めない

COURSE & PRICE

2つの進め方

おすすめ

FULL PROGRAM / 6 SESSIONS

しっかり習得コース

780,000円～

（税別・全6回）

5名まで／回数・人数・場所により個別お見積り

基本の型を入れて、御社の実物で繰り返し、後半は実際の仕事を想定した実習へ。中間に総復習の回を挟み、定着を確認しながら進めます。

まず試す

ONE-DAY FOCUSED SESSION

単発（1日・課題別集中講座）

150,000円～

（税別・1日）

5名まで／出張・拠点開催どちらも可

御社の課題に合う部分だけを絞った集中講座。「まずここだけ直したい」に1日で応えます。講師との相性を確かめる入口としてもどうぞ。そのままコースへ切り替えられます。

※ 人数・回数・開催場所（御社への出張／東大阪拠点）は、お見積りで柔軟に対応します。

HOW WE TEACH

KBCの研修のやり方

8:2

体験：座学

体験8割、座学2割。

「なんでだろう？」と思ってから学ぶと、頭に入る。

まずやってみる。うまく作りたい、失敗した、なんでだろう——そうやって自分ごとの疑問を持ったときに座学をやるから、知識が頭に入ります。座学だけを先にしても、インプットされません。体験なしには覚えられない。だからKBCの研修は、8割が現場なんです。

0→100

受け身 → 自発

「言われてやる」が、「自らやる」に。

面白いと体感した人は、帰ってから自分で動き出す。

私たちは、モノづくりの醍醐味を伝える仕掛けをしながら教えます。ゲームで体感したり、身近なことにたとえたり。講座の中で「できた！」という小さな成功体験を積むと、「製造業の仕事って面白い」が理屈ではなく体感で分かります。だから帰ったあと、「やってみよう」に変わるんです。

1

営業・技術・現場

会社が、チームになる。

モノづくりは、部門バラバラではできない。

「部門ごとにやっていればいい」ではなく、会社がチームにならないとモノづくりはできない——それをKBCの研修では伝えます。営業・技術・現場、それぞれの役割と立場、何をしているかを知ることで、コミュニケーションの大切さと、連携するともっと良くなることを体感してもらいます。

※ この考え方は、全6回のコースでも、1日の単発講座でも変わりません。研修の設計は、育てたい人とゴールをうかがったうえでご提案します。

CORE THEMES 01-04

8分野から、必要なものだけ選べます。

CORE 01 / DRAWING

図面読解

図面は現場の共通言語です。読める・描ける・伝えられる人が増えると、現場の手戻りが減ります。

- 三角法・三面図・アイソメ図の読み方
- 面積・体積の計算、材料取りの考え方
- 寸法記入・JIS記号・加工指示の理解
- 御社の実際の図面を使った読解演習
- 幾何公差・はめあい公差の読み取り

CORE 02 / TURNING

旋盤加工

段取り八分。刃物と条件の決め方から寸法の追い込みまで、現場の手順そのままに教えます。

- 段取りの基本と安全講習
- 基本加工と寸法出し・仕上げの実技
- 旋盤の構造と加工原理の理解
- トラブルの原因と対応
- バイトの種類・切削条件の選び方
- 御社の加工物を題材にした実習

CORE 03 / MILLING

フライス加工

平面出し・溝・穴あけの基本から、精度を安定させるための考え方までを一気通貫で。

- 段取りの基本と安全講習
- 平面出し・溝加工・穴あけの実技
- フライス盤の構造と加工原理
- 精度が出ないときの切り分け
- 刃物の使い方と切削条件の考え方
- 御社の加工物を使った演習

CORE 04 / WELDING

溶接

記号が読めて、歪みの理由が分かって、治具まで考えられる。品質で語れる溶接人材を育みます。

- 溶接の種類と原理の理解
- 治具の作り方・考え方と実践
- 溶接記号の読み方と図面指示
- 御社の部材・板厚を使った実技演習
- 溶接歪みのメカニズムと対策

CORE THEMES 05-08

技術だけでなく、品質と生産管理まで。

CORE 05 / INSPECTION

検査・測定

測る力は、品質を数字で語る力です。測定機器の正しい理解から、現場での使いこなしまで。

- ノギス・マイクロメータの原理と使い方
- 検査記録の残し方・伝え方
- 正しい測定方法と誤差・ばらつきの見方
- 御社の製品・図面公差に合わせた演習
- 検査・測定が品質管理で果たす役割

CORE 06 / SHEET METAL

板金加工

曲げ・絞り・レーザー・溶接。板金の工程を通して理解すると、設計と現場の会話が変わります。

- 材料の種類と性質の理解
- 精度の出し方とトラブル対応
- 抜き・曲げ・絞りの原理と材料の伸び
- レーザー加工・溶接とのつながり
- 展開寸法の出し方と展開図の理解
- 御社が扱う板厚・部品での演習

CORE 07 / QUALITY MANAGEMENT

品質管理

品質は、検査で見つけるものではなく、工程で作り込むもの。不良を出さない仕組みを現場に根づかせます。

- ISOの仕組みと品質保証（QA）の視点
- 外注管理の方法
- なぜなぜ分析・4M分析による原因究明
- 5S・検査基準など仕組みづくり
- 再発防止・水平展開の進め方
- 御社の不良事例を題材にした改善演習
- 不良発生時の初動対応と現場での対策

CORE 08 / PRODUCTION MANAGEMENT

生産管理

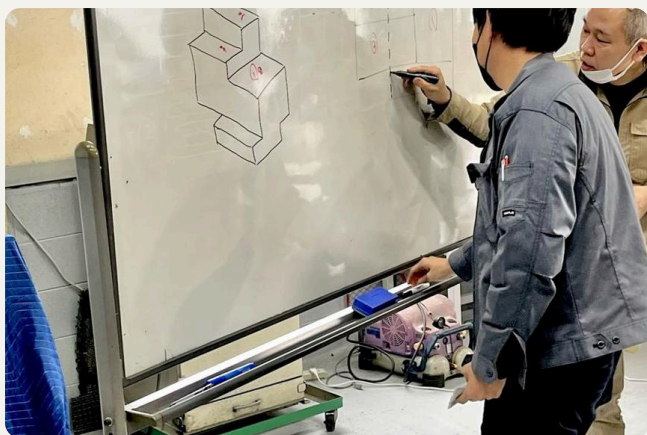
納期・工程・段取り。現場が回る理由を理解すると、一人ひとりの動き方が変わります。

- 受注から出荷までの流れと各段階の役割
- 原価・リードタイムの管理視点
- 納期・工程・段取りと生産効率
- お金の動きと品質をシミュレーションゲームで体感
- ボトルネックの見つけ方と対処
- 御社の実際の工程を題材にした演習

GALLERY 01

図面が読めるようになる。 生産管理の仕組みがわかる。

図面が読めれば、現場の会話が変わる。生産管理が分かれば、動き方が変わる。座学と演習、シミュレーションゲームを行き来しながら、全員の目線をそろえます。



図面の読み方は、ホワイトボードで全員の目線をそろえてから。



図面の見方は、三角法・アイソメの基本から手を動かして。



測定は、実際に手で測って数字を出すところまで。



現場では、図面の理解と加工の理解をつなげて教えます。



部署をまたいだ受講も。営業・技術・現場が同じ場に。



生産管理・お金の動き・品質の大切さは、シミュレーションゲームで体感。

GALLERY 02

そして、機械の前に立つ。

動かすのは受講生、指導するのは講師。御社の工場へ出向いての実地研修にも対応します。



手で動かして、機械と加工の原理を知るところから。



溶接は、実際にアークを出して母材に置くところまで。



溶接現場での実地研修。実際の治具・実際の母材で。



御社の工場へ出向いて、御社の機械で教えることもできます。

CASE STUDIES

どんな会社が、何のために使っているか。

商社・大手メーカー・中小製造業まで。課題の形はさまざまです。近い事例をお探しします。

CASE 01

商社の新人営業向け | 現場研修による業界理解

町工場で実際にモノづくりを体験し、製造業がどう成り立っているかを体感。その後の座学で業界構造と「営業先の工場が何を求めているか」を学び、現場目線の理解を深めました。

CASE 02

塗装メーカー | 図面読解講座

図面読解が苦手なスタッフが多く、表面積の計算や図面指示の理解不足が作業効率に影響。中堅社員向けのオーダーメイド講座で、図面の基礎と表面積計算を重点的に学びました。

CASE 03

大手メーカー 知財部門 | 技術研修

知財を扱う部門でも技術知識が必要な場面が多いため、プラスチック成形や金型の技術講座を実施。現場を知らなかった受講者も技術的な注意点と基礎を理解し、業務の精度向上につながりました。

CASE 04

中小製造業 | 全社レベルアップ講座

「会社全体のスキルを底上げしたい」というご依頼。生産管理・品質管理・検査・技術の基礎を網羅したトータル講座で、各部門の連携と作業効率を改善しました。

FEATURED

自社板金製品メーカー | 中途採用者の育成（全6回）

異分野からの中途採用者を対象に、図面の見方など基礎から企業研修として実施しました。

技術力の向上

基礎から応用まで、現場で役立つスキルを習得。

業務の効率化

実践的な知識で、作業のスピードと精度が向上。

問題解決力の強化

自ら課題を発見し、解決する力を育成。

AFTER TRAINING

研修の後の技術フォローも、お任せください。

学んだ人が現場でつまづいたとき、社内で教えられる方は、いつも忙しい方ではないでしょうか。教える役を、KBCが外から引き受けます。社内の技術者の手を止めず、学んだ本人も困らない。そのための3つの形です。

また学ぶ

技術演習プログラム

別のテーマもやりたくなったら、都度また呼んでください。カタログから選ぶだけで、次の研修がすぐ組めます。

育て切る

個別伴走支援

御社の課題に合わせてカリキュラムをゼロから設計し、事業の転換・立ち上げまで並走します。研修から始まり、進めるなかで出てきた組織の課題まで受け止めるのがこの形です。KBCの本丸です。

内容・期間により個別お見積り

いつでも聞ける

現場相談室

日々の「これ、どうしたらいい？」を月額で受け続けます。忙しいベテランに聞きづらいことも、外のKBCになら聞けます。現場の部屋と経営陣の部屋の2部屋制。

法人 月額33,000円～／個人 月額11,000円

VOICES

受講された方々の声

図面の見方が分かってから、現場との打ち合わせで話が通じるようになりました。今までは聞くだけだったのが、自分から質問できるようになったのが一番の変化です。

— 受講企業・営業職の方

実際に自社で扱っている部材を使って練習できたので、翌日からそのまま仕事に活かせました。教科書の例題では、こうはしなかったと思います。

— 受講企業・製造部門の方

研修が終わったあとも、分からないことが出てきたら相談できるのが心強いです。「聞ける先がある」だけで、現場の空気が変わりました。

— 受講企業・現場リーダーの方

INSTRUCTORS

教えるのは、現役です。

研修講師が本業の人間ではありません。いまでも自分の工場で手を動かしている技能者が教えます。



TECHNICAL MASTER

岩水 建二

試作板金加工の現役技能者であり、豊里金属工業 社長。横層型・簡易型の開発により、試作段階から絞り成形を適正価格で製作。指先に乗る程度の端子から家電・バイク・ヒートシンクまで、難易度の高い板金加工を手掛けます。KBCの名前の由来であり、技術の柱です。

国家技能検定 マシニングセンター 一級技能士

ものづくりマイスター（厚生労働省認定）

なにわの名工

大阪テクノマスター

大阪ものづくり優良企業賞

大阪工業大学 非常勤講師

DESIGN & MOLD

落合 孝明

射出成形用金型の設計を軸に、デザインとエンジニアリングの両面から製品開発を支援。データ作成、製品開発のディレクション、製品手配などを行う設計事務所（モールドテック・2代目）を運営し、工業製品・産業装置・生活雑貨など幅広い分野での経験を活かして開発を伴走します。



PROGRAM DIRECTOR

戸屋 加代

株式会社MACHICOCO 代表取締役。商品開発・人材育成・マーケティングにおけるモノづくりのプロジェクトマネジメントを手掛け、町工場の技術を組み合わせて開発商品を多数市場に送り込む。現場と経営の両方の言葉で、研修を「御社で使える形」に設計し、品質を見届けます。

SUBSIDY

研修費用の負担を、制度を使って軽くする。

当校の企業向けカスタマイズ講座は、**人材開発支援助成金（人材育成支援コース）**の対象となる場合があります。申請に必要な添付書類は、当校がご用意します。

制度	人材開発支援助成金／人材育成支援コース（厚生労働省・各都道府県労働局）
経費助成	訓練にかかった経費の一部（中小企業の場合、45%程度から）
賃金助成	訓練を受けた時間に応じて、1人1時間あたり800円から
主な要件	訓練時間が10時間以上／通常の生産活動と区別して行われる訓練であること
ご相談の時期	研修開始の2か月前まで

当校がご用意するもの

- ・訓練カリキュラム（科目・時間割・実施場所・講師名）
- ・講師の実務経験を証明する書類
- ・見積書・請求書・領収書（受講料の内訳を明記）
- ・受講料等の価格設定に関する疎明書
- ・受講者名簿・出欠記録・訓練実施報告書

5点すべて、追加費用なしでお渡しします。

御社にお願いすること

- ・労働局への計画届の提出
- ・訓練終了後の支給申請
- ・職業能力開発推進者の選任
- ・事業内職業能力開発計画の策定

ご希望があれば、当校の担当者が労働局への事前相談に同行します。

※ 本ページの内容は2026年7月時点の情報にもとづく概要です。制度の要件・助成率・上限額は年度ごとに改正されるため、最新の情報は厚生労働省および管轄の労働局にてご確認ください。

※ 支給の可否は労働局の審査により決まります。当校は受給を保証するものではありませんので、助成金を前提とした資金計画はお避けください。

※ 申請手続きの代行および申請書類そのものの作成は行っておりません。

※ 実習で製作したものをそのまま出荷される場合は対象外と判断されることがあります。当校では練習用材料を使い、成果物は評価用として保管する形でカリキュラムを設計します。

FLOW

お問い合わせから研修まで

1

ご相談（無料）

育てたい人と、ゴールをお聞かせください。「まだ社内で決まっていない」段階でも構いません。3営業日以内にご返信します。

2

カリキュラムのご提案・お見積り

8分野から必要なテーマを組み、回数・人数・場所を決めます。助成金が見えるかどうか、この段階でお伝えします。

3

（該当する場合）助成金の計画届

添付書類を当校がご用意します。研修開始の2か月前までにご相談ください。

4

研修の実施

御社への出張、または東大阪拠点で実施。御社の図面・御社の部材を使って進めます。

5

報告とふりかえり

出欠記録・実施報告書をお渡しします。次の一手についてもご相談ください。

まずは、育てたい人とゴールをお聞かせください。

相談・お見積りは無料です。合わないと判断したときは、正直にそうお伝えします。

06-6720-8735

受付 平日 10:00-18:00（株式会社MACHICOCO）

メール kbc@machicoco.co.jp

お問い合わせフォーム kenjibridgecollege.machicoco.co.jp/contact

Kenji Bridge College / 運営：株式会社MACHICOCO / 〒577-0064 大阪府東大阪市川俣本町11-10

記載の料金はすべて税別です。内容・料金は予告なく変更する場合があります。2026年8月版。